



# 豊春中だより

学校教育目標  
かがやく未来を創る  
～夢・感動・絆～

〒344-0048 春日部市南中曽根107番地2 TEL048(752)2717 FAX048(763)9664

## 応援される人になる ～修学旅行を終えて～

校長 永野 修

梅雨に入ったとはいえ蒸し暑い日が続いており、今年も猛暑が続くことを予感させる季節を迎えています。先月の修学旅行では、「百聞は一見に如かず」という言葉のとおり、古都、京都・奈良の歴史を実感し、強い印象として生徒の脳裏に刻まれたことと思います。また、寝食を共にした仲間との行動や部屋での語らひは、これまでは気づかなかった友だちの新しい魅力を発見したり、温かさを感じ取ったりする、かけがえのない思い出になったことと思います。

さて、先日の全校朝会では、修学旅行後の3年生の感想の中で、多くの生徒が使っていた言葉として「気遣い、ルール・マナー、責任、協力」であったことを紹介し、「自律」と「自立」について話をしました。この修学旅行で、自分のわがままを我慢すること、仲間の気持ちを気遣うこと等の「自律」経験を通して、3年生が立派に「自立」しているということを伝えました。「聞いたことは忘れ、見たことは覚え、体験したことは理解する」という言葉がありますが、仲間と切磋琢磨し、時には衝突しながらも、人とのかかわりの中で自他のよさに気づく体験学習は、人への気遣いや思いやり、ルール・マナーを守ること、時間を守ることの大切さを学ぶことができます。そうした3年生の成長の裏には、日々の学校生活の中での仲間への気遣いや思いやりの積み重ねがあります。最高学年となって成長を感じさせる立ち居振る舞いや言動が多くみられるようになり、自然と応援したくなる気持ちが湧いてまいります。ところで、「応援したくなる人」とはどのような人なのでしょう。「応援したくなる人」とは、決して「できる人」ではありません。できなくても一生懸命に頑張っている人です。「応援したくない人」とは、決して「できない人」という訳でもありません。やれば出来るのにやらなかったり、フテ腐れたりしている人です。一生懸命頑張っていると応援されるようになります。応援される人は嬉しくてまた頑張ります。すると、次第に喜ばれるようになり、感謝されるようになります。だからもっと頑張りたいくなります。一方、工夫もせず言われたことだけを「やればいいんでしょ」精神で仕事をしている人は、応援されることや感謝されることも減っていきます。時には「何まじめにやってんの？」と頑張っている人を笑うようになります。結果、攻撃的になり、投げやりな態度や発言で周りを困らせます。

「応援される人」になるにはどうしたらいいか？簡単です。人は頑張っている人を応援したくなるのです。勉強や運動ができる・できない、力が強い・弱い一切関係ありません。人は、前向きにコツコツと努力し続ける人を応援するのです。